

記者発表資料  
平成24年12月25日  
産業部商工課  
担当：畠山勉（内線521）

## 大島汽船株式会社からの寄付金贈呈について

平成23年11月3日に愛媛県新居浜市より大島汽船株式会社が寄贈を受けたフェリー「おおしま」が、平成24年8月21日をもって船舶検査満了となり、このたび仲介業者を通じ東南アジア方面へ売却されることとなりました。

この売却は、新居浜市の御承認のもと、大島汽船株式会社が手続を進めてきたものであり、同社より「新居浜市当局・市議会及び同市市民の皆様方より賜りました御厚情に報いるためにも、売却代金の全額を気仙沼市に寄付したい。」という申し出があり寄付金として贈呈いただくものであります。

つきましては、贈呈式を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

### 記

- 1 日 時 平成24年12月26日（水） 午後2時
- 2 場 所 市役所応接室
- 3 寄付金額 金400万円 ※使途の指定なし
- 4 経 過

(1) 平成元年に建造されたフェリー「おおしま」は、愛媛県新居浜市の離島：大島(同名)において運航され、引退間近となっていたが、後継船の製造発注先の造船所から「大島汽船(株)の所有船舶全てが被災した。」旨の情報を新居浜市サイドが入手し、同社に対し平成23年3月末頃に譲渡を打診。

(2) 平成23年11月3日、大島汽船(株)白幡昇一代表取締役社長が新居浜市を訪問し、佐々木龍市長(当時)から寄贈を受け、11月30日に気仙沼大島に入港。

(3) 同年12月27日付けで東北運輸局から大島航路での運航許可を受け、船体整備等を経て平成24年1月27日に運航開始となった。

### 5 補 足

(1) 船体規模：115トン／定員：200人／積載車両：普通車8台

(2) 気仙沼大島では、主に燃油運搬車両の搬送や危険物搬送に使用され、復旧・復興に大いに貢献。

(3) 以下を総合的に勘案し、売却することとしたもの。

①船舶検査更新の受検費用が概算で800万円以上と見込まれたこと。

②震災時に浦の浜港に打ち上げられたフェリー「亀山」が、修理を完了し既に運航再開を果たし、加えて新造船フェリー「ドリーム大島」が平成24年7月14日に就航したこと。

③廃船を想定した場合も多額な費用が見込まれたこと。

※年式の面で国内は厳しいものの、国外を視野に入れ仲介業者に斡旋を依頼した。

(4) 現在、熊本県天草市内の造船所に向け回航中で、整備を受けたのちに売却先(仲介業者が最終交渉中とのこと)に向かうこととなっている。